裏表紙

相談先一覧

トランスジェンダーに関する医学的相談

ＮＰＯ法人関西ＧＩＤネットワーク

<http://www.kgn.or.jp/>

性的マイノリティ当事者やその周囲の人たちの相談窓口

ＮＰＯ法人くぉーく

クオーク電話相談

ＴＥＬ　０６－６５８５－０７５１　※第１月曜１９：３０～２２：３０

ＬＧＢＴと医療福祉（改訂版）

<http://qwrc.org/2016iryoufukushicmyk.pdf> （容量1.90ＭＢ）

性的マイノリティ当事者やその周囲の人たちの相談窓口

大阪市淀川区ＬＧＢＴ電話相談

ＴＥＬ　０５７０－００９－９１８

第１～４水曜１７：００～２２：００

コミュニティスペース

当事者を含めたすべての人が安心して集まれるスペース

※月２回開催　内１回は個別相談も実施しています。

開催日程、場所等は下記リンクをご参照ください。

<http://niji-yodogawa.jimdo.com/>

性別や同性愛などセクシュアルマイノリティに関する相談

よりそいホットライン

ＴＥＬ　０１２０－２７９－３３８　※フリーダイヤル　２４時間対応

エージーピー

電話相談　こころの相談

ＴＥＬ　０５０－５５３９－０２４６　※毎週火曜２０：００～２２：００

ＨＩＶ／エイズを含む性感染症に関する相談

コミュニティセンターディスタ（マッシュ大阪）

<http://www.dista.be/>

ＨＩＶ／エイズに関する相談（来所予約等を含む）

ぷれいす東京

<http://www.ptokyo.org/consult/servicedirectory>

LGBTの薬物依存に関する電話相談

大阪ダルク

毎週月曜から土曜　１０：００～１７：００

ＴＥＬ　０６－６３２３－８９１０（１０：３０～１１：３０、１４：００～１５：００を除く）

薬物依存に関する相談

フリーダム薬物依存電話相談

毎週土曜１５：００～１９：００

ＴＥＬ　０６－６３２０－１１９６

ＬＧＢＴ当事者の方へ

ＬＧＢＴ当事者を含む、すべての人が安心して医療を受ける権利を持っています。自分の性に関することについて、伝えても伝えていなくても、それは変わりません。また、あなたのプライバシーは守られるべきものです。たとえひとつの病院が自分に合わなかったとしても、諦めないでください。医療機関の中にも、ＬＧＢＴの健康のために、懸命に取り組んでいる方が沢山います。もし不安に思うことがあれば、まずは一度、相談してみてください。

医療従事者の方へ

ＬＧＢＴなどの性的マイノリティは、５～８％日本に存在していると言われています。少なくみても20人に１人は当事者ということになります。決して少ない数字ではありません。診察時も「ご主人、奥さん、彼氏、彼女」といった、性別を特定するような言葉ではなく「パートナー」と統一することで、当事者は「理解がある方なのでは」と思います。何気ない日常の一言を意識することから、ＬＧＢＴについて考える一歩にしていただければ幸いです。

誰もが安心して受けられる医療をめざす

大阪市淀川区では、平成25年９月に全国行政機関初の「ＬＧＢＴ支援宣言」以降、「淀川区ＬＧＢＴ支援事業」として専門電話相談、コミュニティスペースの設置、意見交換会、教職員向けＬＧＢＴハンドブック作成などを展開しています。多くのＬＧＢＴ当事者の声を聞くなかで、特に医療現場での困りごとを抱えている人が多いことに気付きました。本書では医療者側、ＬＧＢＴ当事者側の現状を知り、それぞれの想いを共有することを目的にしています。お互いの気持ちを知ることが、「誰もが安心して受けられる医療」への第一歩になれば幸いです。

協力（敬称略、順不同）

康　純

大阪医科大学 神経性新医学教室 准教授

織田　裕行

関西医科大学総合医療センター 精神神経科 助教

谷口　恭

太融寺町谷口医院 院長

藤井　ひろみ

神戸市看護大学大学院 准教授

田村　凌

にじいろナースネット　共同代表

田口　カイ

ＬＧＢＴの家族と友人をつなぐ会 神戸スタッフ

桂木 祥子

くぉーく

内藤　れん

れいんぼー神戸

発行

淀川区役所

編集

虹色ダイバーシティ・ＱＷＲＣ共同体

問合せ先

淀川区役所市民協働課

電話

０６－６３０８－９７３４

ＦＡＸ

０６－６８８５－０５３５

メール

tl0002@city.osaka.lg.jp

ＨＰ

<http://niji-yodogawa.jimdo.com/>